

インターネットでどこまで生活は便利になるか？

New Life with Internet

有料
サービス
& サイト
徹底検証

text: いちばゆみ

オンライン医療 サービス

定期的に健診を受けたほうがいいとわかっていても、毎日忙しくてなかなか病院に行く時間が取れないという人は多い。会社で定期健診が受けられる場合はまだしも、健診システムがない中小企業での勤務や自営の場合は、気が付けばもう何年も健診を受けていないということもあるだろう。最近、インターネットを利用して、居ながらにして自分の健康状態を調べられるサービスが増えてきた。さて、その使い心地は？

自宅でいつでも心電図チェックが受けられる

個人でも利用できる「Myインターネット心電図サービス」

日本人の死亡原因のうちガン(悪性腫瘍)に次いで第2位に挙げられる心疾患。突然死の6割以上が致命的な不整脈による心臓突然死によるものだそう。日ごろから自分の心臓の状態を把握しておくことが大切なのだ。とはいえ、働き盛りの世代にとって仕事を休んで検診の時間を作るのはなかなか難しいのが現状ではないだろうか。

「Myインターネット心電図サービス」は、専用のPHSデータ通信カード(京セラコミュニケーションシステムのKCCSワイヤレス・IPネットワークサービス)を内蔵した

小型心電計を利用して自分で簡単に心電図を測定し、収録したデータを即時に送信。翌日にはドクターからのコメントがメールで届く健康管理支援サービスだ。

心電計は重さ110グラム、大きさはタバコの箱程度のコンパクトさ。これなら常に持ち歩いていつでもどこでも、ちょっと気になるときに心電図を計測できる。

送信したデータは、専用のウェブサイトを確認でき、あらかじめインストールしておいたプログラムを利用してグラフデータで視覚的に確認したり、印刷したりすることもできる。

Myインターネット心電図サービス

【総販売代理店】メディカルデータ株式会社
<http://www.medicaldata.co.jp/>

【申し込み方法】上記サイトより資料請求フォームにて

【料金】

個人会員：本体12万円

初期登録手数料 3,000円

月額基本料 3,000円

(月2回の判読)

追加 1,500円/1回

法人会員：本体12万円

月額基本料 14,000円

心電図判読サービス料 600円/1回



心電図収録装置 「Cardio Mobi EV-50」

重さ: 約110グラム(乾電池・CF PHSカード含む)
 サイズ: 幅62 × 高さ92 × 奥行き22mm
 電源: 単三アルカリ乾電池1本
 製造元: フクダ電子株式会社

電極を胸に軽く押し当てるか手で持つかして、収録ボタンを押すと自動的に心電図を本体に収録する。その後、自動でデータを送信してくれる。

申し込みから最短5日で心電計到着 本体は少々高価。操作は手軽で安心

申し込みは、メディカルデータのホームページ上で資料請求フォームに記入して行う。申込書が2日程度で手元に届くので、必要事項を記入して捺印のうえ郵送で返送する。

申込書には医師からの判読結果を受け取るためのメールアドレスを必ず記入する（メールが利用できない場合はFAXでも可能）。送信先は2件まで登録できるため、1つは携帯電話のメールアドレスにしておくと、いちいちパソコンを立ち上げなくてもすぐに判読結果を見られるので便利だ。

申込書がメディカルデータに届いてから3日程度で心電計が手元に届く。支払い

はクレジットカードまたは代引きが可能。

気になる費用は、本体が12万円。初期登録手数料として3,000円のほか、月額基本料が3,000円となっている。月額基本料で、月2回まで測定データに対する専門医の判読コメントが受けられる。月2回を超える場合は、1回につき1,500円の追加料金がかかる。少々高く感じるが、手軽に健康を管理するための投資と思えば価値はありそう。遠く離れて住む老親へのプレゼントとして購入する人もいそう。

また、法人で購入して複数の社員のデータを会社の健康管理責任者がまとめて管理することもできるようになっている。

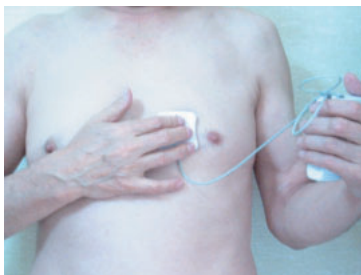


「資料請求」で、フォームに必要事項を入力すると、申込書が2日程度で郵送されてくる。

支払方法
 本体：クレジットカード決済（佐川急便のエコレクトサービスを利用）または代引き
 月額使用料：口座振替（アプラス）

ボタンを押すだけで測定データを送信 収録したデータは消去ができないので注意！

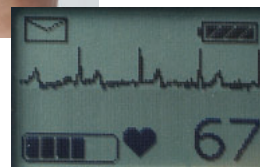
測定は電極を胸に軽く押し当て、本体の収録ボタンを押すだけ。30秒間でデータが収録され、終了すると自動的にデータを送信してくれる。最初はつい電極部分を胸に強く押し当てすぎてしまい、測定不能という結果になってしまった。これは強く押し当てすぎると、筋肉の微動をキャッチしてノイズになってしまうため。また、パソコンを使っている机の上などに本体を置いて操作するとノイズを拾ってしまうので、本体は手に持って測定するのがベスト。コツを覚えれば、操作は拍子抜けするほど簡単だ。ただしいったん収録したデータは、送信せずに消去することはできな



左胸のみぞおちあたりに軽く押し当てる。強すぎると測定不能になってしまうので、軽く触れる程度でOKだ。



指で電極を押さえ、手で持って測定することもできる。外出先など、胸を広げて測定できない場所ではこちらの方法で。



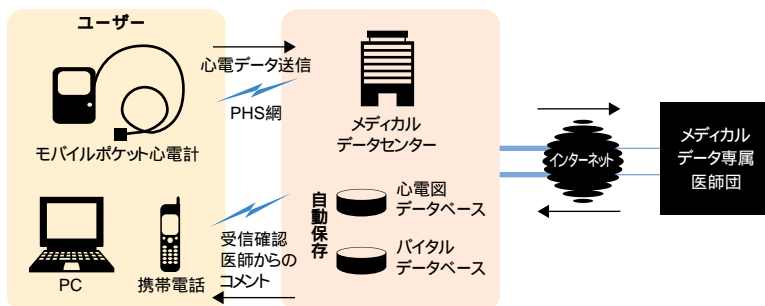
測定中の心電計の画面。

い。そのつど自動で送信されてしまうので、キャンセルする場合は収録が完了する前の起動段階で停止しなければならない。

Myインターネット心電図サービス利用の流れ



測定後、内蔵のPHSデータ通信を利用して心電図データがセンターに送信される。



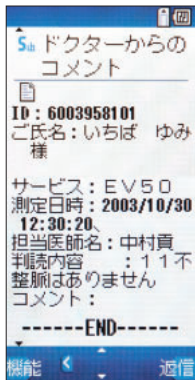
パソコンを持たないユーザーでもOK!

データ受信確認や判読コメントは携帯で受け取れる

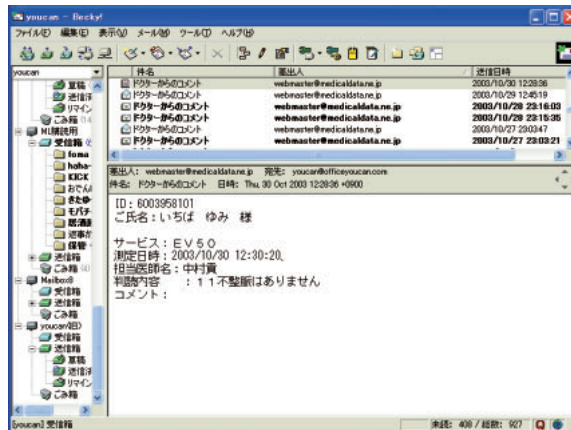
収録したデータの送信が完了すると、すぐに受信を確認した旨の連絡がメールで届くようになっている。

ドクターからの判読コメントは、21時までに送信したデータは翌日21時までに届くとのことだが、今回試した結果では早くて1時間以内、遅くても3時間以内で結果が返ってきた。送信先のアドレスは2件まで登録でき、携帯電話のメールでもいい。

ただし、アドレスの変更は自分では行えず、連絡して変更手続きを行ってもらう必要がある。迷惑メール対策などでアドレスを変えてしまった場合は少々面倒かも。



医師から送られた判読メール。この例では、特に問題はないため、「不整脈はありません」という定型のメッセージで送られているようだ。



パソコン用のメールの画面。携帯電話宛てのメールと本文はまったく同じ。

心電図データをウェブサイトで一元管理

今後は心電図以外の検査にも応用できる

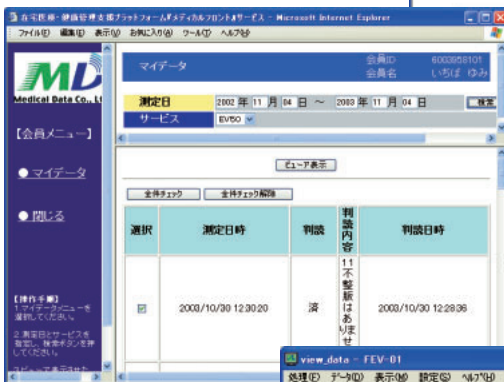
会員になると、専用のウェブサイトで収録した心電図データを確認できる。パソコンに専用のプログラムをインストールすれば、心電図の波形データをグラフ表示で確認することも可能。印刷して、かかりつけの医師に見せるといった使い方もできる。

測定 PHSによるデータ送信 専門医による測定・ウェブでのデータ管理という仕組みは、この心電計だけではなく、血圧測定や糖尿病患者の血糖値管理など、さまざまな健康管理に応用されそうだ。

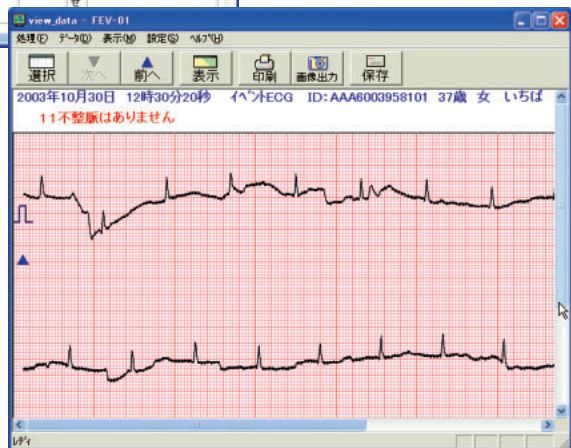
個人が手軽に自分の健康状態をチェックできるこのサービス、社会の高齢化に伴ってニーズは広がっていくのではないだろうか。



メンバー専用サイトにアクセスし、事前に書類で届いた企業コード・会員ID・パスワードを入力してログインする。



「マイデータ」をクリックすると、これまでに送信した測定データを一覧で確認できる。



あらかじめパソコンにビューアソフトをインストールしておくと、心電図の波形データをグラフ化して確認できる。複数のデータを比較したり、印刷したりすることも可能だ。

データの保管先とセキュリティ対策

測定したデータは、メディカルデータ 京セラコミュニケーションシステム)のデータセンターに送信されて保管される。個人会員の場合、データはIDとパスワードで管理され、VeriSignによる電子認証を採用しているのでセキュリティ面も安心だ。

手軽に使える

多種多様なオンライン医療

「Myインターネット心電図サービス」以外にも、インターネットやメールを利用して健康管理や検査が簡単にできるサービスが増えてきている。良心的な価格設定なので、会社が指定する年1回の定期健診以外にも、健康管理のために自分で定期的に体調をチェックしたい場合などに手軽に試してみてもいい。

気づいてネット・web健診

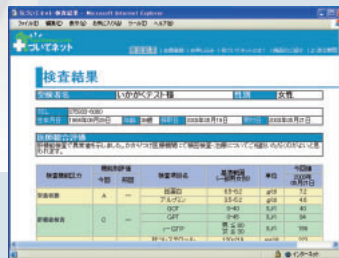
URL <http://www.kizuitenet.com/>

オンラインで検査キットを申し込み、自宅で検査キットを使って検査後に郵送すると、診断結果が返送され、サイト上でも結果を確認できる健診サービス。一度利用するとIDとパスワードが発行され、自分の過去の検査データをいつでも確認できる。肝機能や糖尿病などの検査ができる「生活習慣病予防基本キット」のほか、性病検査キット、大腸がん・胃がん・子宮頸がん・肺がんの検査キットも扱っている。



「生活習慣病予防基本キット」採血用の器具で指先に傷を付けて採血し、保冷材を入れた専用封筒で郵送する。

検査結果は、専用のウェブページでいつでも確認できる。過去のデータとの比較も可能なので、継続的な健康管理に役立つ。



医療ネット

URL <http://www.iryonet.jp/>

地域別と診療科目別に医療機関を検索できるほか、歯科・美容外科・産婦人科・人間ドックの受診ができる病院を検索できる「特別治療受付」サービスを行っている。ユーザーは、希望地域と受けたい診療を選択して申し込むと、該当医療機関のリストが届く。その中で条件が合う医療機関を選べると診療の予約ができるようになっている。



オンラインで指定する地域の医療機関が探せる。治療前に見積もりも出してもらえるので安心。

ピースマインド メンタルヘルスケア

URL <http://www.peacemind.co.jp/>

オンラインで臨床心理士や精神保健福祉士などのカウンセリングが受けられるサービス。匿名なので気軽に利用できる。複数登録されているカウンセラーの中から、自分で選ぶことが可能。相談はメールやIP電話(仮想番号を使ったサービス)を利用して受けられる。

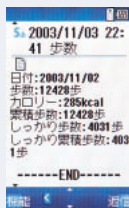


@niftyや@womanなどにカウンセリングコンテンツを提供しており、それぞれのサイトのサービスとしてカウンセリングを受けられるようになっている。

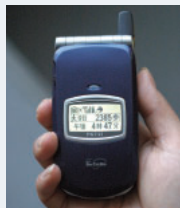
歩数計機能が付いた ムーバF672i (らくらくホンIII)

URL <http://www.nttdocomo.co.jp/>

操作のしやすさで中高年層に人気のらくらくホン・ムーバF672i (NTTドコモ)は歩数計機能を搭載。事前に登録した相手に、1日の歩数記録を自動的にメールで送信する「あんしんメール」機能がある。登録した相手から指定タイトルのメールが届くと、自動で携帯電話の最新利用時刻と歩数を返信する機能も。離れて暮らす老人の安否確認に活用できそう。



指定したアドレス宛てに、歩数のほか、有酸素運動としてカウントされる「しっかり歩数」や消費カロリーも通知してくれる。



歩数は携帯背面のサブウィンドウに表示。モノクロだが大き目の文字でとても見やすい。



ネットで申し込みの可能な検診キット (検診結果は郵送)

コンビニ検診

URL <http://www.7dream.com/find/a07a/198/>

ヘルスネット「お茶の間検診」

URL <http://www.health-net.co.jp/>



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp